

# 神栖市情報モラル指導 モデルカリキュラム



分類	L1:低学年	L2:中学年	L3:高学年	L4:中学校	L5:高校	
1. 情報社会の倫理	a1~3: 発信する情報や情報社会での行動に責任を持つ。			a4~5: 情報社会への参画において、責任ある態度で臨み、義務を果たす。		
	a1-1: 約束や決まりを守る。	a2-1: 相手への影響を考えて行動する。	a3-1: 他人や社会への影響を考えて行動する。	a4-1: 情報社会における自分の責任や義務について考え、行動する。	a5-1: 情報社会において、責任ある態度をとり、義務を果たす。	
	b1~3: 情報に関する自分や他者の権利を尊重する。			b4~5: 情報に関する自分や他者の権利を理解し、尊重する。		
	b1-1: 人の作ったものを大切にすることを心もつ。	b2-1: 自分の情報や他人の情報を大切にする。	b3-1: 情報にも、自他の権利があることを知り、尊重する。	b4-1: 個人の権利(人格権、肖像権など)を尊重する。	b5-1: 個人の権利(人格権、肖像権など)を理解し、尊重する。	
2. 法の理解と遵守	c2~3: 情報社会でのルール・マナーを遵守できる。			c4: 社会は互いにルール・法律を守ることによって成り立っていることを知る。	c5: 情報に関する法律の内容を理解し、遵守する。	
			c2-1: 情報の発信や情報をやりとりする場合のルールやマナーを知り、守る。	c3-1: 何がルール・マナーに反する行為か知り、絶対に行わない。	c4-1: 適法な行為とは何かを知り、違法だと分かった行動は絶対に行わない。	c5-1: 情報に関する法律の内容を積極的に理解し、適切に行動する。
			c3-2: 「ルールや決まりを守る」ということの社会的意味を知り、尊重する。	c4-2: 情報の保護や取り扱いに関する基本的なルールや法律の内容を知る。	c5-2: 情報社会の活動に関するルールや法律を理解し、適切に行動する。	
			c3-3: 契約行為の意味を知り、勝手な判断で行わない。	c4-3: 契約の基本的な考え方を知り、それに伴う責任を理解する。	c5-3: 契約の内容を正確に把握し、適切に行動する。	
3. 安全への知恵	d1~3: 情報社会の危険から身を守るとともに、不適切な情報に対応する。			d4~5: 危険を予測し被害を予防するとともに、安全に活用する。		
	d1-1: 大人と一緒に使い、危険に近づかない。	d2-1: 危険に出合ったときは、大人に意見を求め、適切に対応する。	d3-1: 予測される危険の内容が分かり、避ける。	d4-1: 安全性の面から、情報社会の特性を理解する。	d5-1: 情報社会の特性を意識しながら行動する。	
	d1-2: 不適切な情報に出合わない環境で利用する。	d2-2: 不適切な情報に出合ったときは、大人に意見を求め、適切に対応する。	d3-2: 不適切な情報であることを認識し、対応できる。	d4-2: トラブルに遭遇したとき、主体的に解決を図る方法を知る。	d5-2: トラブルに遭遇したとき、さまざまな方法で解決できる知識と技術を持つ。	
	e1~3: 情報を正しく安全に利用することに努める。			e4~5: 情報を正しく安全に活用するための知識や技術を身に付ける。		
	e1-2: 知らない人に、連絡先を教えない。	e2-2: 個人の情報は、他人にもらさない。	e3-2: 自他の個人情報を、第三者にもらさない。	e4-2: 自他の情報の安全な取り扱いに関して、正しい知識を持って行動できる。	e5-2: 自他の情報の安全な取り扱いに関して、正しい知識を持って行動できる。	
	f1~3: 安全な健康を害するような行動を抑制できる。			f4~5: 自他の安全や健康を害するような行動を抑制できる。		
f1-1: 決められた利用の時間や約束を守る。	f2-1: 健康のために利用時間を決め守る。	f3-1: 健康を害するような行動を自制する。 f3-2: 人の安全を脅かす行為を行わない。	f4-1: 健康面に配慮した、情報メディアとの関わり方を意識し、行動できる。 f4-2: 自他の安全面に配慮した、情報メディアとの関わり方を意識し、行動できる。	f5-1: 健康の面に配慮した、情報メディアとの関わり方を意識し、行動できる。 f5-2: 自他の安全面に配慮した、情報メディアとの関わり方を意識し、行動できる。		
4. 情報セキュリティ	g2~3: 生活の中で必要となる情報セキュリティの基本を知る。			g4~5: 情報セキュリティに関する基礎的・基本的な知識を身に付ける。		
			g2-1: 認証の重要性を理解し、正しく利用できる。	g3-1: 不正使用や不正アクセスされないように利用できる。	g4-1: 情報セキュリティの基礎的な知識を身に付ける。	g5-1: 情報セキュリティに関する基本的な知識を身に付け、適切な行動ができる。
h3-1: 情報セキュリティの確保のために、対策・対応がとれる。			h4~5: 情報セキュリティの確保のために、対策・対応がとれる。			
			h3-1: 情報の破壊や流出を守る方法を知る。	h4-1: 基礎的なセキュリティ対策が立てられる。	h5-1: 情報セキュリティに関し、事前対策・緊急対応・事後対策ができる。	
5. 公共的なネットワーク社会の構築	i2~3: 情報社会の一員として、公共的な意識を持つ。			i4~5: 情報社会の一委員として、公共的な意識を持ち、適切な判断や行動ができる。		
	i2-1: 協力し合ってネットワークを使う。		i3-1: ネットワークは共用のものであるという意識を持って使う。	i4-1: ネットワークの公共性を意識して行動する。	i5-1: ネットワークの公共性を維持するために主体的に行動する。	